

実習施設の紹介

実習施設

1. 医療型重症心身障害児入所施設 伊豆医療福祉センター
2. 順天堂大学医学部附属静岡病院 (新生児センター)
3. 独立行政法人国立病院機構 静岡医療センター
4. 生活介護事業所 でら〜と
5. 独立行政法人国立病院機構 静岡てんかん・神経医療センター
6. 独立行政法人静岡県立病院機構 静岡県立こども病院
7. 社会福祉法人小羊学園 つばさ静岡
8. 生活介護事業所 あにまあと
9. 社会福祉法人聖隷福祉事業団 総合病院聖隷浜松病院
10. 独立行政法人国立病院機構 天竜病院
11. 社会福祉法人聖隷福祉事業団 聖隷三方原病院 聖隷おおぞら療育センター

1. 医療型重症心身障害児入所施設 伊豆医療福祉センター	
担当者	看護師長 堀江 映子
連絡先	電話 055-949-1165 FAX 055-949-5303
施設概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県東部駿東田方地区の重症心身障害児(者)の入所施設。 ・ 入所者は36名。18才未満13名。18才以上23名。(R5.4.10現在) ・ 気管切開5名。胃瘻造設15名。経鼻経管2名。日常的な吸引8名。 ・ 人工呼吸器1名 ・ 施設職員 常勤医師3名 看護師24名(非常勤含む) 生活支援員20名(非常勤含む) 児童指導員・保育士8名(非常勤含む) PT6名 OT5名 ST5名 臨床心理士3名など ・ 他職種間で定期・臨時のミーティングを行い連携をとっています。 ・ 重心施設としては、充実したりハビリとのチームアプローチができています。 ・ 入所の他に外来(小児・整形・発達行動・障害者歯科)・通所(成人・未就学)短期入所・日中一時支援などもおこなっています。地域の在宅支援の拠点となれるようできる限りの支援をおこなっています。
実習日等	令和5年9月・10月 指定日なし 一日あたり実習生2名まで
実習時間	集合：9:00 実習開始：9:30 実習終了予定：16:00
実習内容	<p>《見学と体験》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 施設内各セクションの見学。業務内容などの説明。 ・ 重心児者との接し方・観察のポイント・医療ケアのポイント(経管栄養・気管切開の管理・痙攣発作・間欠導尿など)・日常生活のケア(食事介助・排泄介助・姿勢管理・移乗介助など)の説明、見学した後、実際に体験していただきます。
留意点等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自家用車で来所の際は外来者駐車場に停めてください。 ・ 服装は自由ですが、動きやすいものを持参してください。上くつも持参してください。 ・ 昼食は持参してください。(車で数分のところにコンビニあり。) <p>*ワクチン接種3回済んでいること・研修前2週間の体調チェック必要</p>

2. 順天堂大学医学部附属静岡病院 新生児センター	
担当者	看護師長 持田 奈津美
連絡先	電話 055-948-3111 (代表) 内線:2200 PHS:7014
施設概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 静岡県東部地区の第三次新生児医療施設として昭和 57 年 4 月に開設 ・ 平成 20 年総合周産期母子医療センター認定 ・ NICU12 床、GCU 病棟 (回復室) 18 床 (平成 24 年 5 月改築増床) ・ 看護師 50 名 (新生児集中ケア認定看護師 2 名)、看護助手 3 名 ・ 院内出生だけではなく、東部地区の産科より早産児・低出生体重児・病的新生児等の依頼を全て受け、年間約 400 例が入院となります。他院の依頼や転院の場合には、新生児救急車またはドクターヘリで搬送します。 ・ 人工呼吸器を必要とする重症児は年間約 100 例、高度な医療が必要となる出生体重 1500 g 未満の児は年間約 60 例です。 ・ “後遺症なき生存” に向けて医師や理学療法士等と協働し、子どもの発達を促すケア、母子関係形成や家族の始まりを支える看護に力を入れています。平成 25 年より 24 時間面会を導入しました。また、在宅介護 (気管切開、在宅酸素、吸引、経管栄養等) が必要な場合は医療連携室や地域保健師とも連携し、ご両親が安心して育児できるよう取り組んでいます。
実習日等	令和 5 年 9 月 27 日 (水) 3 名まで
実習時間	集合: 8:50 実習開始: 9:00 実習終了予定: 16:00
実習内容	<p><見学・体験></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ NICU・GCUの見学 ・ 気管切開、在宅酸素、吸引、経管栄養等が必要な児の観察と基本的な技術 日常的なケア (沐浴・おむつ交換・体位変換等)、医療機器 (人工呼吸器・在宅酸素・酸素飽和度モニター等) の取り扱い、リハビリ等。 ・ 在宅介護が必要な家族への関わり、技術指導等。
留意点等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 気管切開管理の体験は症例がいる時のみ行うことができます。 ・ 見学・体験のできる症例に対しては、ご両親の承諾が必要です。 ・ 当院は新生児集中治療室であり、免疫力の弱い児も多く入院していますので、感染対策に協力をお願いします。また、体調が悪い場合は早めに報告してください。 ・ 昼食の準備をお願い致します。(院内コンビニあり) ・ コロナワクチン 2 回接種済又は実習 1 週間前までの PCR 検査陰性確認が必要となります。 (COVID-19 の感染状況により変更あり)

3. 独立行政法人国立病院機構 静岡医療センター	
担当者	副看護部長 澤村 智子
連絡先	電話 055-975-2000
施設概要	<p>静岡県東部に位置し、沼津市（人口 19 万）と三島市（人口 11 万人）のほぼ中間、狩野川と黄瀬川の合流点に近い駿東郡清水町（人口 3 万 2 千人）に所在する。診療機能としては、循環器、がん、救急及び総合診療を 4 本柱とする急性期医療と神経・筋疾患、重症心身障害を中心とする慢性期医療を担う複合型の医療機関である。医療法病床数 450 床（うち重症心身障がい児者病床 58 床）、標榜診療科 27 診療科。</p> <p>●重症心身障がい児者病棟（さくら病棟） 入所形態（医療型障害児入所 3 名、措置入所 2 名、療養介護 52 名、短期入所 2 名） 超重症・準超重症者の割合 33.3%（R5 年 4 月現在） 12 歳から 72 歳まで（平均年齢 46 歳） 人工呼吸器装着者 4 名、気管切開 7 名、経管栄養 21 名（うち胃瘻造設者 19 名） 看護方式（PNS） 職員体制：看護師 37 名、療養介助員（生活支援員）8 名、児童指導員 2 名、保育士 6 名、その他医師、理学療法士、作業療法士、言語療法士、薬剤師、栄養士、診療看護師等 静岡県立東部特別支援学校の訪問教育あり（中学部 1 名、高等部 2 名）</p> <p>●通所事業（さくらの丘）1～2 名／日</p>
実習日等	令和 5 年 9 月 1 日（金）から 29 日（金）（土・日・祝日を除く） ※1 日当たりの受け入れ人数 2 名まで
実習時間	集合 9：15 実習開始 9：30～ 実習終了予定 16：30
実習内容	<見学> 呼吸ケア、食事介助、経管栄養、口腔ケア、ポジショニング、体位変換、吸引、入浴介助、療育活動 <体験>指導者とともに実施 食事介助、口腔ケア、排せつ介助、ポジショニング、入浴介助、療育活動等
留意点等	<ul style="list-style-type: none"> ・体験内容の希望に合わせた実習が行えるよう、調整いたしますので事前にご相談ください。 ・服装は動きやすいもの（白衣やトレーニングウェア等）、室内履き（ナースシューズ等）を持参してください。 ・昼食は持参もしくは、院内の売店をご利用ください。 ・自家用車の駐車可（外来駐車場をご利用ください） ・研修 1 週間前からの体温チェックの実施をお願いします。

4. 生活介護事業所 であら〜と	
担当者	主任 村松 友希
連絡先	電話 0545-23-1551
施設概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ どんなに障害が重くても、地域で「普通に生きる」を理念として、富士市を中心とした、在宅の重症心身障害児（者）の通所施設。 ・ 利用者は、令和4年度、生活介護22名。 ・ 人工呼吸器1名、気管切開4名、吸引6名、酸素吸入1名、経管栄養（NG-T 2名・胃ろう・腸ろう5名）、医療的ケアが多い。 ・ 生活介護以外の事業として、学齢前を主体とした児童発達支援事業・放課後等デイサービス、日中一時・ライフサポート、ナイトケア、居宅介護事業、グループホーム事業を実施。 ・ 施設スタッフは、看護師7名、生活支援員（保育士含む）16名、嘱託医・PTの訪問1日/2週、車椅子業者訪問1/週、 ・ 担当医・家族・施設間の連携を重視している。 ・ 医療施設ではないため、利用者の安全・安心を図る体制として、「医療的ケア実施要綱」「看護師以外の職員による医療的ケア実施要綱」「体調不良時の対応マニュアル」「個人別リスク対応確認同意書」等について取り組んでいる。
実習日・期間	令和5年9月6日(水), 13日(水), 20日(水), 27日(水) 4日間 各1名
実習時間	集合9時15分 実習開始9時30分～実習終了予定16時30分
実習内容	<p><見学> 人工呼吸器利用者の入浴介助など</p> <p><体験> 車送迎（曜日によって人工呼吸器も含む）、登所時の家族からの受け入れ、利用者のバイタルチェック、健康維持活動（リハビリ、足浴、散歩など）昼食時の介助（経管栄養含む）排泄介助（オムツ、トイレ）入浴介助（月・水・金）、療育活動（読書会:月、運動 or 音楽:火、DVD:水、レクリエーション:木、光遊び:金、季節の行事等）</p>
留意点等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 重症心身障害児（者）の通所施設として、人員も充実しており、1対1で、希望に沿った実習が出来ると思います。 ・ 曜日、日程によって経験できる項目が変わりますので、事務局に問い合わせ調整していただくと良いと思います。 ・ 自家用車駐車可、お弁当持参。水分など自販機あり。 ・ 服装は自由ですが、動きやすいものが良いです。入浴介助は、半そで、短パンがあればいいです。上履き不要。 ・ コロナワクチン接種が済んでいるようにして下さい。理由があつて接種できない方は、ご相談ください。

5. 独立行政法人国立病院機構 静岡てんかん・神経医療センター	
担当者	副看護部長 中村 典子
連絡先	電話 054-245-5446
施設概要	<p>【所在地】 〒420-8688 静岡市葵区漆山 886</p> <p>【名称】 独立行政法人国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター</p> <p>【病床数】 医療法 406 床（うち重症心身障がい児者病棟 160 床）</p> <p>【重症心身障がい病棟】 4 病棟(1 病棟 40 床) 平均年齢 45 歳 人工呼吸器 13 名、気管切開 22 名、経管栄養 51 名、ウロストミー1 名 医療的ケアが必要な患者から自力移動可能な患者まで幅広い。 医療・看護・療育・介護・学校教育・リハビリテーションの多職種と協働し、 重症心身障がい児（者）の医療的ケア、ADL の維持や機能訓練、側弯予防のための 体位変換、ポジショニングに取り組み、遊びや関わりを通して成長発達を促す 援助等を行っている。患者の高齢化に伴う、呼吸、嚥下機能障害、消化器や脳神 経障害、腫瘍性疾患などへも対応。 病棟スタッフ：看護師 77 名、療養介助専門員 22 名、その他：医師・児童指導 員・保育士・理学療法士・作業療法士・薬剤師・栄養士など</p>
実習日等	9 月 19 日(火)・20 日(水) 10 月 23 日(月)～27 日(金) *1 日当たりの受け入れ人数 4 名まで
実習時間	集合時間：9 時 15 分 実習時間：9 時 30 分～16 時 00 分
実習内容	<p>〈見学〉 呼吸管理(人工呼吸器装着患者の援助含む)、口腔ケア、体位変換、吸引 ポジショニング、リハビリ訓練、入浴介助、学校との連携、医療的ケア</p> <p>〈体験〉指導者とともに実施 経口での食事摂取、与薬（内服薬）、体位変換・移動介助（歩行・車椅子） 排泄介助（トイレでの排泄・おむつ交換、）保清（入浴介助・更衣等） レクリエーション・療育活動の実際等</p>
留意点等	<ul style="list-style-type: none"> ・服装については、動きやすいもの(白衣またはトレーニングウェア等)、 ナースシューズ、室内履き(病棟入り口で履き替えます)、を持参して ください。 ・体験内容の希望で実習内容を調整しますので、事前に見学・体験項目を お知らせください。 ・昼食を持参してください。売店の利用も可能です。 ・自家用車での来院は可能です。但し、外来棟前は患者さん優先となりますので 正面玄関向かって右側にある鉄板駐車場をご利用ください。 ・感染予防対策として、病院内ではマスクの着用をお願いしています。 また、実習までの体調管理、当日体調チェックをお願いします。

6. 地方独立行政法人静岡県立病院機構 静岡県立こども病院	
担当者	看護部 副看護部長兼教育看護師長 佐野朝美
連絡先	電話 054-247-6251 (病院代表) 看護部：内線 2471 又は PHS 776
施設概要	1977 年小児専門医療機関として、全国で 6 番目に開院しました。当院の設立目的は、「一般診療機関では診断・治療困難な小児患者を県内全般より紹介予約で受け入れ高度医療を行い、小児医療関係者の研修、母子保健衛生に関する教育指導を行う」ことです。NICU、MFICU、PICU の 3 つの ICU をもつ 279 床の小児急性期病院です。こどもたちの成長発達を大切に、治療 (CURE) だけでなく、ケア (CARE) を大切に、CLS、認定看護師、保育士、など多職種とチーム医療を提供しています。
実習日等	令和 5 年 9 月 6 日 (水) 13 日 (水) (左記のいずれか 1 日 4 人程度)
実習時間	集合：9 時 00 分 実習開始：9 時 15 分 実習終了予定：16 時 30 分
実習内容	<p>※各病棟の指導者のもとで、実際のケアについて見学・体験していただきます。しかし、患者様の状況により体験が難しく、見学が中心になることもありますことをご確認ください。</p> <p><研修予定病棟></p> <p>9：15～14：00 (休憩含む)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内科系病棟：乳幼児・学童 医療的ケアを必要とする重症児 ・外科系病棟：手術後医療的ケアを必要とするこどものケア ・循環器病棟：先天性心疾患の術前・術後、医療的ケアを必要とするこどものケア <p>14：00～15：30</p> <ul style="list-style-type: none"> ・急性期病棟 ICU 等の見学 <p>15：30～16：30</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループワーク：意見・情報交換
留意点等	<ul style="list-style-type: none"> ・入院中の患者様は、重症疾患、治療等で免疫機能が低下されている方がいらっしゃいます。実習当日体調不良である場合は、無理せずお申し出ください。 ・麻疹・水痘について罹患の有無の確認と未罹患の方は予防接種 2 回を推奨しています。 ・以下の方は、場合により実習を中止していただくことがあります。 <ul style="list-style-type: none"> * 市中で麻疹・水痘の流行があった場合、未罹患・予防接種を 2 回受けていない方 * 体調不良の方

7. 社会福祉法人小羊学園 つばさ静岡	
担当者	療育部長 佐藤 貞一・看護主任補佐 沼野智穂
連絡先	電話 054-249-2830
施設概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 静岡市葵区城北 117 ・ 療養介護事業、医療型重症児入所施設（重症心身障がい児施設） ・ 入所者 63名、短期入所 10床 ・ 気管切開 14名、人工呼吸器 11名 ・ 経管栄養（胃ろう） 27名 ・ 血液透析 1名 ・ 全国的にも医療的ケア度が高い施設です ・ 隣接事業 生活介護事業わたぐも 定員 20名 日中一時支援事業 児童発達支援・放課後等デイサービスたんぼぼ 定員 5名（休止中） 相談支援事業所 アグネス静岡
実習日等	令和 5 年 9 月 13 日（水）、14 日（木）、15 日（金）、27 日（水）、29 日（金） 上記 5 日間のいずれか 1 日（1 日 3 名まで受け入れ可能です）
実習時間	集合 9:20 実習開始 9:30 実習終了予定 16:00
実習内容	<p><見学> 人工呼吸器の管理、機械浴の入浴介助、訪問教育</p> <p><体験> 経管栄養（胃ろう食を含む）、食事介助、口腔ケア、吸引 入浴介助、体位交換、姿勢保持（腹臥位マット）</p>
留意点等	体験内容の希望に合わせて実習場所を検討させていただきます。希望のある方は、事前にご相談ください。

8. あにまあと（生活介護・児童発達支援・放課後等デイ）	
担当者	村松 陽子 ・ 梅澤 拓子
連絡先	電話 0538-31-3381 (FAX 0538-31-3383)
施設概要	<p>定員 生活介護 20名 障害児通所多機能（児童発達支援・放課後等デイ）5名 研修はそれぞれの事業で体験して頂きます。</p> <p>◆利用者</p> <p>◎生活介護～現契約者 24名 内医療的ケアが必要な方 12名 胃ろう経管栄養・・・9名、経鼻経管栄養・・・2名 気管切開・・・8名、人工呼吸器、サチュレーション管理・・・4名、 口腔吸引・・・10名、鼻腔吸引・・・8名、気管カニューレ吸引・・・8名 ネブライザー吸入・・・3名</p> <p>◎児童発達・放課後等デイサービス現契約者 17名 内医療的ケアが必要な方 11名 （特別支援学校の児童などの定期的な受け入れ） 胃ろう経管栄養・・・5名、経鼻経管栄養・・・3名、気管切開・・・8名、 人工呼吸器管理・・・2名、口腔吸引・・・4名、鼻腔吸引・・・4名、 気管カニューレ吸引・・・6名</p> <p>◆職員体制：サービス管理責任者 1名 児童発達管理責任者 1名 看護師 9名(非常勤含) 支援員 12名(非常勤含) 保育士 2名 訓練職員 4名 (PT含)</p>
実習日・期間	9/4～9/29 土・日・祝日以外の平日（1日1～2名程度） 9/7・8・11・12・13・14日は受け入れ不可 ※他日に関しては要相談
実習時間	集 合 9 時 00 分 (9:30でも可・要相談) 実習開始 10 時 00 分 ～ 実習終了予定 16 時 30 分
実習内容	<p><見学> 施設内見学 月曜・木曜の午前・・・ふれあい体操（スポーツグラマー、PTによるリハビリ的な体操） 木曜の午後・・・リフレクソロジー（リフレクソロジストによるマッサージ） その他の平日・・・散歩、制作活動、スヌーズレン、エアートランポリンなど</p> <p><体験> 日中活動の補助（制作活動・散歩・レクリエーションなど週案による活動）、食事介助、入浴介助、排泄介助、体位交換、経管栄養・口鼻腔吸引などの医療的ケア等</p>
留意点等	<ul style="list-style-type: none"> ・服装は自由です。（動きやすい服装でお願いします） ・室内履きをご用意ください。 ・昼食持参または希望により外注弁当も可（1食380～円） <p><アクセス></p> <ul style="list-style-type: none"> ・遠鉄バス『32 磐田市立病院福田線 下大原下車 徒歩2分』 ・東名磐田インターより車で約15分、施設右回り（一方通行）で入るようお願いします。

9. 社会福祉法人聖隷福祉事業団 総合病院聖隷浜松病院	
担当者	小児看護専門看護師 高 真喜
連絡先	電話 053-474-2229 (直通)
施設概要	<ul style="list-style-type: none"> ・1996年総合周産期母子医療センター認定後、静岡県西部地区、愛知県東部地区からの母体搬送、新生児搬送を受け入れている。 ・NBA 出動回数 294 件/年 (2019 年度) ・NICU：21 床 GCU：20 床 小児科：38 床 ・NICU 入院数 585 件/年 ・新生児集中ケア認定看護師 2 名 ・小児看護専門看護師 3 名 ・出生前から出生後、退院後を見据え施設内・外の連携を強化させ“つなげる看護”に努めている。 ・出生時体重 1000g 未満の患児が小学校入学前に「NICU 懇親会」で集い子どもの成長を祝う会を開催している (コロナ禍のため中止)
実習日等	9 月 13 日 (水) 10 人以内 10 月 12 日 (木) 10 人以内
実習時間	8:30~17:00
実習内容	NICU・GCU・小児科病棟を見学し、下記内容の講義、演習を行います。 1) 重症心身障害児 (者) の定義・分類 【講義】 ①児童福祉での行政上の措置を行うための定義 ②大島の分類 2) 重症心身障害児 (者) の合併症 【講義】 ①重い知的障害 + 重い身体障害 ②超重症児、準超重症児とは ③重症児 (者) の主要な原因とその比率 3) 重症心身障害者の特徴 【見学】 ①重度：自立性が低い ②生命力が低い ③合併症が多い ④障害が進行していく ⑤コミュニケーションが難しい ⑥筋緊張亢進、筋緊張を起こしにくい介入方法 4) 重症心身障害児 (者) の医療的ケア 【見学・シミュレータにて演習】 ①経管栄養の利点と欠点、胃食道逆流症、ダンピング症候群 ②人工呼吸器管理 ③気管切開 合併症：出血・肉芽・気管腕頭動脈瘻・感染症 ④姿勢管理 仰臥位：姿勢による胃と食道の位置関係/側臥位の基本姿勢 腹臥位の基本姿勢/腹臥位の利点と問題点/座位 正しい姿勢と楽な姿勢 5) 家族の支援 【講義】 介護の負担の重み、重症心身障害児 (者) の価値
留意点等	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症予防対策については当院の感染管理規定に沿って対応します。 ・経管栄養、気管切開に関してはシミュレータを使用して演習を行います。

10. 独立行政法人国立病院機構 天竜病院

担当者	副看護部長 南茂 一枝																					
連絡先	電話 053-583-3111																					
施設概要	<p>【病院の特徴】 浜松市中心街から北東約 20 kmの緑豊かな丘陵地に位置し、主な診療科は、呼吸器内科（結核含む）・脳神経内科（神経難病含む）・小児精神・重症心身障がい、定床 316 床、職員数（非常勤を含む）約 300 名。そのうち看護部職員は業務技術員（看護助手）等を含む約 230 名の病院。</p> <p>【重症心身障害児（者）病棟について】 2 病棟、合計 110 床。主な診療圏は県内～愛知県であるが、東京・神奈川などの NICU・GCU・児童相談所（被虐待児含）などからの転院にも対応し医ケア児が多い。障害の程度は、寝たきりから自力移動可能までと様々。患者の成人化・高齢化に伴う諸問題（成人病の発生、悪性疾患）にも対応。疾患は、染色体異常、脳性麻痺、てんかん、低酸素脳症、髄膜炎、脳炎、精神発達遅延など。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1 病棟</th> <th>2 病棟</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>患者の年齢層</td> <td>1 歳 9 ヶ月～73 歳 平均年齢 39.2 歳 15 歳以下(学童期) 13 名</td> <td>1 歳 10 ヶ月～76 歳 平均年齢 30.0 歳 15 歳以下(学童期) 15 名</td> </tr> <tr> <td>超重症児</td> <td>10 名</td> <td>12 名</td> </tr> <tr> <td>準超重症</td> <td>8 名</td> <td>10 名</td> </tr> <tr> <td>人工呼吸器装着</td> <td>9 名(NIPPV・NHF も有)</td> <td>20 名(NIPPV・NHF も有)</td> </tr> <tr> <td>気管切開</td> <td>15 名</td> <td>15 名</td> </tr> <tr> <td>経管栄養</td> <td>35 名</td> <td>38 名</td> </tr> </tbody> </table> <p>静岡県立天竜特別支援学校の訪問教育あり（小・中～高等部）。 病棟スタッフは、2 病棟合わせて看護師 71 名、療養介助職 6 名（療養介護専門員 3 名）、業務技術員（看護助手）5 名。そのほか、医師・児童指導員・保育士・理学療法士・言語療法士・作業療法士・薬剤師・栄養士等。</p>		1 病棟	2 病棟	患者の年齢層	1 歳 9 ヶ月～73 歳 平均年齢 39.2 歳 15 歳以下(学童期) 13 名	1 歳 10 ヶ月～76 歳 平均年齢 30.0 歳 15 歳以下(学童期) 15 名	超重症児	10 名	12 名	準超重症	8 名	10 名	人工呼吸器装着	9 名(NIPPV・NHF も有)	20 名(NIPPV・NHF も有)	気管切開	15 名	15 名	経管栄養	35 名	38 名
	1 病棟	2 病棟																				
患者の年齢層	1 歳 9 ヶ月～73 歳 平均年齢 39.2 歳 15 歳以下(学童期) 13 名	1 歳 10 ヶ月～76 歳 平均年齢 30.0 歳 15 歳以下(学童期) 15 名																				
超重症児	10 名	12 名																				
準超重症	8 名	10 名																				
人工呼吸器装着	9 名(NIPPV・NHF も有)	20 名(NIPPV・NHF も有)																				
気管切開	15 名	15 名																				
経管栄養	35 名	38 名																				
実習日等	令和 5 年 9 月 25 日（月）～10 月 6 日（金）（土・日・祝日を除く） 1 日の受け入れ可能人数 2 名まで																					
実習時間	集合：9 時 15 分、実習開始：9 時 30 分、実習終了予定：16 時 00 分																					
実習内容	<p><見学> 食事介助、経管栄養、呼吸介助、口腔ケア、ポジショニング、吸引、体位変換、リハビリ場面、入浴介助（呼吸器装着患者の援助も含む）学校との連携・医療的検査・処置など</p> <p><体験> 指導者と共に実施：食事介助、口腔ケア、排泄介助、ポジショニング、入浴介助、療育活動など</p>																					
留意点等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 体験にあたって重症心身障害児・者の経験年数は問いません ・ 希望で実習内容を調整しますので、事前に見学・体験項目をお知らせ下さい。 ・ 服装については、動きやすい服装（ツーピースの白衣、トレーニングウェア等）・靴（上履き）を持参して下さい。更衣をする場所は確保します。 ・ お弁当持参（売店有り）。自家用車の駐車可。 ・ 希望があれば病院内見学できます。来院時にお知らせ下さい。 ・ Covid-19 感染予防対策として、実習 2 週間前からの体調チェックと院内ではサージカルマスクの着用をお願いします。感染の状況などによっては、スケジュールの変更もあり得ますので、ご了承ください。 																					

11. 社会福祉法人聖隷福祉事業団 聖隷三方原病院 聖隷おおぞら療育センター	
担当者	小児看護専門看護師 真木希
連絡先	電話 053-437-1467
施設概要	<p>【聖隷三方原病院 開設 1942年 12月】 急性期医療を中心に浜松市の北西部中核病院として、地域医療を支えています。 病床数 940床 一般816床（内、聖隷おおぞら療育センター170床）、精神科104床、結核20床</p> <p>[聖隷おおぞら療育センター 1973年 5月「おおぞらの家」設立] 運営方針：聖隷おおぞら療育センターは、施設利用者に対し、障害に即した医療を提供するとともに、個の尊厳を護り、質の高い生活を提供します センターとしての3つの機能</p> <p>①入所施設（児童～成人） 種別：医療型障害児入所施設、療養介護事業 入所定員：150名 入所者：118名（2023年3月） 短期入所定員（ショートステイ定員）20名 利用対象者：重症心身障害児・者</p> <p>②外来診療（リハビリテーション）</p> <p>③在宅支援施設（短期入所事業、児童発達支援、放課後等デイサービス、保育所等訪問支援、生活介護、相談支援）</p> <p>・医師、生活支援員、看護師、OT、PTと協働し利用者理解に努め、医療的ケアを受けながらも個を尊重した生活を送れるよう支援している</p>
実習日等	9月14日（木） または 9月21日（木） 5~6名程度の受入可能
実習時間	9：00～16：30
実習内容	<p>通所（児童発達支援・介護事業所）、リハビリ（外来通院）、入所（1～3号館）を見学し、看護実践の演習（シャドウイング）を行います。</p> <p>1）聖隷おおぞら療育センターにおける重症心身障害児・者の看護【講義】 ・施設概要 ・重症心身障害児・者の看護実践（1～3号館） ・重症心身障害児・者のACP</p> <p>2）医療型障害児入所施設・療養介護事業所の地域における役割【講義・見学】 ・在宅療養生活の支援 ・通所（児童発達支援・介護事業所）、リハビリの役割 ・通所、リハビリ、入所ゾーンの見学</p> <p>3）重症心身障害児・者の看護実践【演習・見学】 ・医療的ケア見学（人工呼吸器管理、気管切開管理、経管栄養、姿勢管理など） ・日常生活援助見学（入浴ケア、排泄ケア、口腔ケアなど） ・日中活動の見学（小児の集団遊び、個別の日中活動） ・ショートステイ、レスパイト入院の受け入れの見学</p> <p>4）重症心身障害児・者の看護における課題【講義】</p>
留意点等	<p>・当院の感染管理規定に沿って対応します。感染防護具や手指消毒剤は貸出します。</p> <p>・見学が主体の実習になりますが、日中活動や集団遊びへの参加は可能です。</p> <p>・ショートステイ、レスパイト入院の受け入れは、実習日に予約がないこともあります。</p> <p>・動きやすい服装、室内履きをご準備ください。更衣室にご案内します。</p>